



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月5日

上場会社名 前澤給装工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6485 URL http://www.qso.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本晴紀  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画統括部長 (氏名) 前田 近 TEL 03-3716-1513  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月5日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	18,735	3.5	2,095	3.4	2,167	△1.4	1,469	12.4
29年3月期第3四半期	18,107	0.4	2,026	38.6	2,197	27.1	1,306	67.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,676百万円 (32.1%) 29年3月期第3四半期 1,268百万円 (79.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	124.99	—
29年3月期第3四半期	108.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	39,645	32,715	82.5	2,812.06
29年3月期	38,981	31,865	81.7	2,692.69

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 32,715百万円 29年3月期 31,865百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	17.00	—	23.00	40.00
30年3月期	—	17.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	20.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	2.2	2,410	△4.7	2,450	△11.9	1,500	△11.6	126.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	12,000,000株	29年3月期	12,500,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	366,056株	29年3月期	666,022株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	11,753,964株	29年3月期3Q	12,013,978株

※ 決算短信は監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想については添付資料のP. 2をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 全般の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善が続くとともに、個人消費も持ち直しの兆しが見られました。

当社グループの事業に関わる新設住宅着工戸数は、貸家を中心に増加してきましたが、弱含みを示すようになりました。さらに、主要原材料の銅に加え樹脂の原材料価格も上昇に転じるなど、事業環境に厳しさが増してきました。

このような状況下、当社グループは、耐震性の高い給水装置製品の販売を全国的に展開するとともに、集合住宅向けなどの住宅設備製品の販売活動を積極的に推進してまいりました。また、製造コストの削減や全社的な間接経費の圧縮に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比3.5%増の187億35百万円となり、営業利益は、前年同期比3.4%増の20億95百万円になりました。なお、経常利益は、営業外収益の減少から前年同期比1.4%減の21億67百万円となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失の減少から前年同期比12.4%増の14億69百万円となりました。

## ② セグメント別の状況

## 〔給水装置事業〕

給水装置事業におきましては、新製品の投入により、売上高は前年同期比6.8%増の112億4百万円となりました。セグメント利益は主要原材料である銅価格の上昇により、前年同期比6.0%増の35億42百万円にとどまりました。

## 〔住宅設備事業〕

住宅設備事業におきましては、貸家の着工戸数が減少に転じたことから、売上高は前年同期比4.4%減の37億38百万円、セグメント利益は運送費用などの増加も加わり、前年同期比8.2%減の8億3百万円となりました。

## 〔商品販売事業〕

商品販売事業におきましては、売上高は前年同期比3.1%増の33億89百万円、セグメント利益は前年同期比3.9%減の3億45百万円となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,912	11,325
受取手形及び売掛金	5,501	6,181
電子記録債権	4,091	4,403
有価証券	291	100
商品及び製品	3,770	3,650
仕掛品	76	122
原材料及び貯蔵品	984	1,193
繰延税金資産	127	60
その他	144	173
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	26,900	27,209
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,322	2,343
機械装置及び運搬具（純額）	659	626
土地	4,727	4,661
建設仮勘定	36	36
その他（純額）	194	133
有形固定資産合計	7,941	7,801
無形固定資産	265	207
投資その他の資産		
投資有価証券	2,234	2,880
長期貸付金	15	12
保険積立金	1,461	1,436
繰延税金資産	64	—
その他	112	102
貸倒引当金	△13	△3
投資その他の資産合計	3,874	4,427
固定資産合計	12,080	12,436
資産合計	38,981	39,645

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,567	4,624
未払法人税等	499	228
賞与引当金	210	62
役員賞与引当金	52	45
その他	707	908
流動負債合計	6,037	5,869
固定負債		
繰延税金負債	67	99
退職給付に係る負債	597	552
資産除去債務	4	4
厚生年金基金解散損失引当金	360	356
その他	48	48
固定負債合計	1,078	1,060
負債合計	7,115	6,930
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,358	3,358
資本剰余金	3,711	3,711
利益剰余金	24,913	25,162
自己株式	△999	△605
株主資本合計	30,984	31,626
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	842	1,013
為替換算調整勘定	172	189
退職給付に係る調整累計額	△134	△114
その他の包括利益累計額合計	881	1,088
純資産合計	31,865	32,715
負債純資産合計	38,981	39,645

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	18,107	18,735
売上原価	12,229	12,787
売上総利益	5,877	5,947
販売費及び一般管理費	3,851	3,851
営業利益	2,026	2,095
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	42	36
為替差益	—	30
保険解約返戻金	5	6
保険転換差益	123	—
受取保険金	8	—
その他	17	24
営業外収益合計	204	105
営業外費用		
売上割引	22	23
為替差損	11	—
保険解約損	—	9
その他	0	1
営業外費用合計	34	34
経常利益	2,197	2,167
特別利益		
固定資産売却益	—	2
特別利益合計	—	2
特別損失		
固定資産除却損	15	1
減損損失	223	2
特別損失合計	238	4
税金等調整前四半期純利益	1,958	2,165
法人税等	651	696
四半期純利益	1,306	1,469
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,306	1,469

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,306	1,469
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	174	171
為替換算調整勘定	△251	16
退職給付に係る調整額	38	19
その他の包括利益合計	△37	207
四半期包括利益	1,268	1,676
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,268	1,676



（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成29年5月15日開催の取締役会決議に基づき、平成29年5月31日付で、自己株式500,000株の消却を実施いたしました。また、平成29年9月11日開催の取締役会決議に基づき、平成29年9月12日付で、自己株式200,000株の取得を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が750百万円、自己株式が394百万円それぞれ減少し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が25,162百万円、自己株式が605百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	給水装置 事業	住宅設備 事業	商品販売 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,492	3,912	3,286	17,691	415	18,107	—	18,107
セグメント間の内部売上高 または振替高	0	205	11	217	1,002	1,220	△1,220	—
計	10,492	4,117	3,298	17,908	1,418	19,327	△1,220	18,107
セグメント利益	3,343	875	359	4,578	302	4,881	△2,854	2,026

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△2,854百万円は、セグメント間取引消去△29百万円及び各報告セグメントに配分されていない全社費用△2,824百万円であります。各報告セグメントに配分されていない全社費用は、主に提出会社の報告セグメントに配分されていない全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	給水装置 事業	住宅設備 事業	商品販売 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,204	3,738	3,389	18,332	402	18,735	—	18,735
セグメント間の内部売上高 または振替高	1	202	16	221	1,187	1,408	△1,408	—
計	11,206	3,941	3,406	18,554	1,590	20,144	△1,408	18,735
セグメント利益	3,542	803	345	4,691	160	4,851	△2,756	2,095

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△2,756百万円は、セグメント間取引消去31百万円及び各報告セグメントに配分されていない全社費用△2,787百万円であります。各報告セグメントに配分されていない全社費用は、主に提出会社の報告セグメントに配分されていない全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前第3四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注)	連結財務 諸表 計上額
	給水装置 事業	住宅設備 事業	商品販売 事業	計				
減損損失	—	—	—	—	—	—	223	223

(注) 調整額は、各報告セグメントに配分されない全社資産に係る減損損失であります。

当第3四半期累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注)	連結財務 諸表 計上額
	給水装置 事業	住宅設備 事業	商品販売 事業	計				
減損損失	—	—	—	—	—	—	2	2

(注) 調整額は、各報告セグメントに配分されない全社資産に係る減損損失であります。